グローバルな環境・エネルギーシステムの中での地方都市の役割（全体像）

～　地球環境問題への取り組みによる住みよいまちづくり　～

構造改革の必要性

社会・ライフスタイル

現　状	社会・ライフスタイルの構造改革	改革の方向
ものの流れ：大量生産 大量消費	→	地域内循環
個人のあり方：機械依存 受動的労働	→	人間性の回復
組織（所有・機能）のあり方：個 分業化	→	コミュニティ 複合化・共有化
自然とのつきあい方：自然征服・隔離	→	自然活用
技術の使い方：個別最適 技術万能	→	システム最適 適材適所

環境行政

現　状	環境行政の構造改革	改革の方向
守備専門型	→	連続攻撃型
対症療法	→	対症療法 ＋ 予防療法
補助金(あめ)	→	規制＋誘導＋啓発 (むち) (あめ) (教育)
環境部門限定	→	全庁的な取り組み
国→地方 行政の率先的活動	→	地方 → 国 →地方

構造改革の実施

①　物質循環

2010

○スローフード政策（食糧生産＋安全・学習・娯楽機能）
○ごみ処理と食糧・エネルギー生産の連携

目 標

○地産地消・信越連携による安全・安心なまちづくり
○廃棄物処理から物質循環の構築へ

②　インフラ

2010

○総合エネルギー政策の実施
○総合交通政策の実施
○都市計画への反映と連携

目 標

○自然の恵みを活かしたエネルギー需要抑制とエネルギー供給
○移動量の抑制
○インフラ特性を活かした土地利用計画

③　まち（都市計画）

2010

○都市エリアのコンパクト化
○スプロール化抑制（外部不経済の内部化）
○コミュニティ形成型住宅の推進

目 標

○コンパクト・シティ化による都市機能の強化
○自然環境の回復と創造
○職住近接・農都近接によるエネルギー消費削減

④　くらし（教育）

2010

○国際環境協力の推進
○上越独自の教育カリキュラム
○①～③への教育機能の付与

目 標

○環境問題の構造把握
○生きるための知恵獲得
○自主的なライフスタイル転換

⑤　行政（総合政策）

2010

○総合計画への反映
○戦略的環境アセスメントの実施
○環境影響シミュレーションツールの作成
○環境政策課の総合企画・政策調整機能の強化
○市民・企業が行う環境改善活動施策の充実

目 標

○環境政策を軸とする行政スタイル
○リスクマネージメント（予防療法）

上越市のスタンス

	プラス効果	回避効果
メリット	○真の豊かさの早期の享受 ○まちの顔づくり（イメージ戦略）	○地域環境の保全 ○経済的メリット ○新たなライフスタイルへのスムーズな移行（ソフトランディング）
責務	○地方からの国づくり	○市民生活を守る地方自治体

上越市の将来像

2010

都市部における都市機能の強化
農村部における自然の恵みの強化
環境政策を軸とする行政スタイル

目 標

コンパクト・エコシティ（エコポリス）の実現
環境影響に強いまち
真の豊かさを享受できるライフスタイル